

※1 CiNii (サイニイ) NII論文情報ナビゲータCiNiiは、論文や図書・雑誌などの学術情報で検索できるデータベース・サービスです。
※2 JAIRO (ジャイロ) 日本の学術機関リポジトリに蓄積された学術情報(学術雑誌論文、学位論文、研究紀要、研究報告書など)を検索できるサービスです。

リポジトリモジュール



WEKOはNIIが開発している次世代情報共有基盤「NetCommons2」上で動作するリポジトリモジュールです。文献を始めとするさまざまな研究成果を共有することによって、新たな研究スタイルの構築が可能となります。

コミュニティサイト



JAIRO Cloud システムに関するお知らせ、操作ガイドなど各種情報を提供します。JAIRO Cloud に関するお問い合わせは、下記のコミュニティサイトにて受け付けております。
▶ <https://community.repo.nii.ac.jp/>

学術機関リポジトリは学術コミュニケーションの新しい地平を切り拓く

- 大学が生み出す知的成果を広く社会と共有することが、大学の社会的責任として強く求められています。「学術機関リポジトリ(IR)」は、大学の教育・研究・社会貢献という使命を果たすうえで、重要な役割を担っています。
- 国立情報学研究所は、大学等の学術研究機関との連携協力により、次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業の一環として、IRの構築・連携を支援しています。

■JAIRO Cloud お申し込み方法

JAIRO Cloudをご利用になるには、利用申請が必要です。利用規約および利用細則に同意のうえ、申請書に必要事項を記入(要押印)し、右記まで、郵送にてお申し込みください。申請に必要な書類は下記サイトからダウンロードしてください。
▶ <https://community.repo.nii.ac.jp/document/>

【書類提出先】

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2-1-2
国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課
図書館連携チーム(機関リポジトリ担当)



CSI委託事業

※CSI: Cyber Science Infrastructure (最先端学術情報基盤)

「最先端学術情報基盤整備(CSI)」の一環として、機関リポジトリの構築と連携を促進するために、平成17年度～平成24年度まで、次世代学術コンテンツ基盤共同構築に向けた委託事業を実施しました。CSI委託事業(コンテンツ系)で、平成17年～平成24年の8年間に、延べ377機関、114プロジェクトを支援しました。

<http://csi.nii.ac.jp>

	第1期			第2期		第3期		
	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
領域1(機関数)	19	57	70	68	74	24	31	34
領域2(プロジェクト数)	-	22	14	21	21	8	8	7
領域3(プロジェクト数)	-	-	-	-	-	5	4	4

●第1期・第2期

- 領域1 機関リポジトリの更なる普及とコンテンツの拡充
- 領域2 リポジトリ相互の連携による新たなサービスの構築

●第3期

- 領域1 コンテンツ構築支援
- 領域2 先導的プロジェクト支援
- 領域3 学術情報流通コミュニティ活動支援

日本の機関リポジトリ数

世界第1位
※2014年8月31日現在

学術機関リポジトリ
ポータル登録コンテンツ数

約220万件
※2014年8月31日現在

日本のリポジトリ公開機関数

10年間で
470以上
※2014年8月31日現在

大学の研究・教育成果発信のさらなる強化に向けて、 学術機関リポジトリの構築連携を支援します。

大学の研究・教育活動の成果である学術情報の収集、組織化、保存および
発信のための仕組みとして、「学術機関リポジトリ(IR)」の存在価値が高まっています。
国立情報学研究所は、学術情報の情報発信拠点の新たなモデルとして、
日本のIRの構築を支援し、付加価値サービスとして発信します。

※ここで言う大学には、その他の研究機関や高等教育機関を含みます。

<http://www.nii.ac.jp/irp/>

【学術機関リポジトリの定義】

大学とその構成員が創造したデジタル資料の管理や発信を行うために、大学がそのコミュニティの構成員に提供する一連のサービス。 ※クリフォード・リンチ(2003)

NII学術機関リポジトリ構築連携の3つのサポート

1 コンテンツ構築

- 学協会誌論文の電子化とコンテンツ提供
- IRに対する学会の著作権ポリシーの確認
- 紀要発信支援とIRへのコンテンツ提供
- SPARC Japan^{*1}パートナー誌ヘリポジトリフレンドリーポリシー推奨

2 システム連携

- メタデータフォーマット"Junii2"^{**2}の提供
- 各IRのメタデータをOAI-PMH^{**3}でハーベストし集約
- 国内学術機関リポジトリポータル"JAIRO"の提供

3 コミュニティ形成

- 報告交流会、研修、ワークショップ、シンポジウムの実施

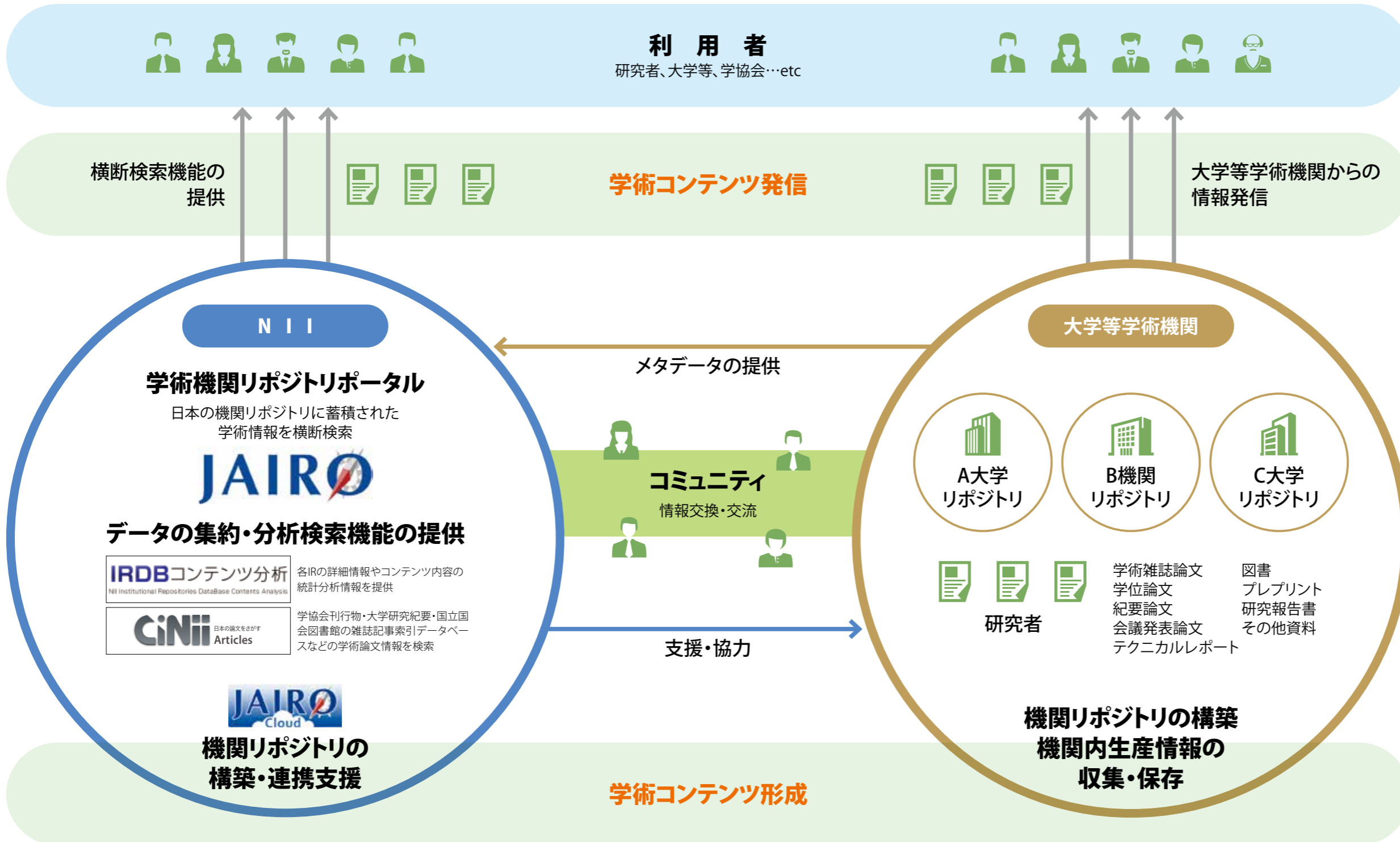
学術機関リポジトリのメリット

- **研究者にとって**
成果の効果的発信、研究インパクトの向上、被引用機会の拡大
- **大学にとって**
社会に対する説明責任、大学ブランド力の向上、国際発信力の強化
- **社会にとって**
情報格差の是正、コミュニティの活性化、産学連携のシーズの発掘
- **図書館にとって**
学術コミュニケーションへの寄与、図書館サービスの高度化

^{*1} SPARC Japan:
日本の学協会等が刊行する学術雑誌の電子ジャーナルを支援・強化することによって、海外への研究成果発信の一番の普及を推進するNIIの事業です。

^{**2} Junii2:
NIIが策定したIRのメタデータ・フォーマットで、国際標準メタデータ・フォーマットDC(ダブリンコア)に準拠しています。国内IRのデファクト・スタンダードです。

^{**3} OAI-PMH:
IR(データプロバイダ)のメタデータを電子論文対応検索エンジン(サービスプロバイダ)にハーベスト(自動取得)させるための国際標準プロトコルです。

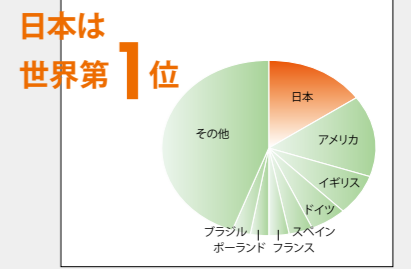


■IRポータル登録コンテンツ数



その他: 図書、テクニカルレポート、研究報告書、プレプリント、会議発表用資料、一般雑誌記事、教材、データ・データベース、ソフトウェアなど
※NII調べ(2014年8月31日現在)

■世界のIR数: 3,000以上



※NII調べ(2014年8月31日現在)

■日本のIR公開機関数



※NII調べ(2014年8月31日現在)